

名古屋アマデウス 室内管弦楽団 第16回 演奏会

2024年3月31日（日）
14:00開演（13:15開場）

電気文化会館 ザ・コンサートホール

PROGRAM

ハイドン

歌劇「アルミーダ」序曲 Hob.Ia:14

モーツァルト

ヴァイオリン協奏曲 第5番 イ長調 K.219
「トルコ風」

歌劇「フィガロの結婚」序曲 K.492

ベートーヴェン

交響曲 第1番 ハ長調 Op.21

指揮 中村 暢宏

ヴァイオリン独奏 辻 純佳

TICKET

全席自由：1,000円

（就学前のお子様のご入場はご遠慮ください）

チケット取り扱い

愛知芸術文化センター プレイガイド

Tel 052-972-0430

INFORMATION

お問い合わせ窓口：

メール info.amadeus@ymail.ne.jp

電話 050-6882-4446

詳細は右側のQRコードより当団ウェブサイトをご覧ください



PROGRAM

ハイドン 歌劇「アルミーダ」序曲 Hob.Ia:14

十字軍の騎士リナルドと敵方の魔女アルミーダの恋物語。序曲は短いながらも端正かつ情熱的で、ハイドンの音楽の魔法が光る作品である。

モーツァルト ヴァイオリン協奏曲 第5番 イ長調 K.219 「トルコ風」

優雅な旋律と洗練された対話が特徴。第1楽章ではエネルギッシュなソロと管弦楽の交錯が魅力。第2楽章では気品と穏やかな美しさに包まれる。そして「トルコ風」と呼ばれる第3楽章では跳躍する旋律、生き生きとした行進曲のようなテンポが感じられる。

モーツァルト 歌劇「フィガロの結婚」序曲 K.492

伯爵の使用人フィガロと婚約者スザンナ。この二人が結婚式当日に伯爵の策略や混乱に巻き込まれる喜劇。流れるようなメロディやコントラスト豊かな楽器の対話が印象的。様々なテーマ性が見事に織り交ぜられ、オペラの舞台を思わせるダイナミズムが堪能できる。

ベートーヴェン 交響曲 第1番 八長調 Op.21

旋律法にはモーツァルトからの、楽曲構築にはハイドンからの影響が見られる。軽快な第1楽章は明るく力強いテーマに満ち、対位法的な遊び心が楽しい。続く緩徐楽章では美しい旋律が広がる。第3楽章ではスケルツォの萌芽に驚きを感じ、フィナーレでは鮮やかな結びつきが印象的。古典派の伝統に敬意を払いつつも、若きベートーヴェンの音楽的冒険が牙えわたる。



PROFILES



指揮・音楽監督 中村 暢宏

1973年東京都生まれ。96年愛知県立芸術大学ヴァイオリン専攻卒業。08年まで中部フィルトップヴァイオリ奏者。2000年から指揮活動を開始し、セントラル愛知交響楽団を始め、県内外の多くの楽団を指揮。12年にはブルガリア国立プロヴディフ・フィルハーモニー交響楽団の定期公演に客演。アマチュアでは当楽団のほか、プランタン管弦楽団、椋山フィルハーモニー等でもタクトを振る。



ヴァイオリン独奏 辻 純佳

岡崎市出身。名古屋市立菊里高等学校音楽科を経て東京藝術大学を卒業。現在、同大学大学院音楽研究科に在学中。これまでにヴァイオリンを故石田なをみ、漆原朝子、松原勝也、玉井菜採、白井圭の各氏、室内楽を松原勝也、山崎貴子、江口玲、渡辺健二の各氏に師事。Festival Academy Budapest 2019、セイジ・オザワ松本フェスティバル2022小澤征爾音楽塾、Schleswig-Holstein Musik Festival 2023等に参加。'19-'21年ヤマハ音楽振興会奨学生、'22公益財団法人山田貞夫音楽財団奨学生。'20-'22年幸田町文化振興協会アウトリーチ環境整備事業登録アーティスト。アウトリーチを児玉真、花田和加子の両氏に師事。

©Ayane Shindo

名古屋アマデウス室内管弦楽団

2008年1月設立のアマチュア楽団。大編成のオーケストラでは比較的演奏機会の少ないモーツァルトやハイドンの楽曲を中心に演奏活動を行う。



電気文化会館 ザ・コンサートホール

〒460-0008
愛知県名古屋市中区栄二丁目2番5号
東山線・鶴舞線「伏見」駅 4番出口より東へ徒歩2分

